

自己評価報告書

平成23年5月16日現在

機関番号：43301

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2008～2011

課題番号：20590667

研究課題名（和文） 「子どものこころ」の発達に及ぼす食育のあり方に関するコホート研究

研究課題名（英文） Cohort study on food educational program that leads to the child mental development

研究代表者

相良 多喜子 (SAGARA TAKIKO)

金沢学院短期大学・食物栄養学科・教授

研究者番号：30249164

研究分野：食物栄養学

科研費の分科・細目：社会医学・公衆衛生学・健康科学

キーワード：子ども、食育、コホート研究、発達、生活習慣、アレルギー、こころ、保健栄養

1. 研究計画の概要

平成17年、食育基本法が施行され、望ましい食習慣の形成は国民的課題となっている。これを受け、自治体、学校、地域の産業団体を通じて様々な食育活動が実施されてきた。食育活動が子どもの「こころ」、成長、行動や保護者世代の生活習慣の改善にどのような効果をもたらしたのか、疫学的に検証する研究は行われていない。本研究は、北陸地域の標準的な複数の小学校を対象として従来の食育教育が子どもの心身の発達や保護者世代の生活習慣の改善に与えた影響を調査する。さらに、食育活動とその効果を追跡するコホート研究を立ち上げ、より効果的な食育プログラムを開発し、協力関係にある自治体、学校を通じて地域に提言する。

2. 研究の進捗状況

幼児のこころの健康の関連因子を明らかにするために、金沢市内の保育所・幼稚園に通園する園児、およびその保護者に対して家族の食生活の状況や子どもの生活習慣、心身の健康状態についての調査を行った。金沢市内の保育園、幼稚園（全29園）に通う3歳から6歳の園児とその保護者を対象として、自記式質問票による調査を行った。項目は、保護者の基本事項、住居環境、家庭における食生活、保護者の食意識を、子どもについては、基本事項、食生活、食習慣および、こころの健康関連、アレルギー関連とした。こころの健康については、自閉症スクリーニング質問紙(ASQ)の質問を用いた。得られた結果を（1）点数化して層化したものと（2）ASQ因子の4群について、また、子の性別および

月齢により層化して比較検討を行った。対象者は1645名（男児：816名、女児：751名）で回収率は保育園50.6%、幼稚園70.4%であった。ASQ点数が15点以上の者は、3歳児1.5%、4歳児1.4%、5歳児2.2%、6歳児1.9%であった。ASQ点数が14点以下と15点以上の群間では、食生活において「食べ散らかす」「よく噛まない」に、月齢別では、社会的因子の3項目に、性別では、「社会的因子」と「お決まり行動因子」にそれぞれ有意差が見られた。子どものこころの健康と、子どもの食生活および行動因子には関連が認められた。目下、これらの因果関係を明らかにするためのコホートは構築され、このコホートを用いて子どものこころの健康に対する、より早期発見の環境改善による予防法となる食育プログラムを開発中である。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

（理由）

これまで、子どもの食生活および行動因子には関連因子を同定し、目的としたコホートは構築された。最終年度にプログラムを提示し、コホートにて評価できれば完全に達成されたと考えられる。

4. 今後の研究の推進方策

①早期発見の環境改善による予防法となる食育プログラムを開発し、②構築されたコホートによってこれを検証し、③自治体、学校を通じて地域に提言する。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 1 件)

- ① Sagara T, Hitomi Y, Kabayashi Y, Hibino Y, Matsuzaki I, Sasahara S, Ogino K, Hatta K, Nakamura H: Common risk factors for changes in body weight and psychological well-being in Japanese male middle-aged workers. Environ Health Prev Med. 14:319-327 (2009) 査読有

[学会発表] (計 5 件)

- ① 柴田亜樹、人見嘉哲、林宏一、神林康弘、日比野由利、相良多喜子、三邊義雄、中村裕之: 幼児期のこころの健康に関連する生活環境および行動因子に関する疫学. 第 81 回日本公衆衛生学会学術総会, 2011 年 3 月, 日本衛生学雑誌
- ② 相良多喜子、神林康弘、人見嘉哲、日比野由利、柴田亜樹、大滝直人、林宏一、中村裕之: 能登半島地震で被災した仮設住宅入居高齢者の精神的ストレスと食行動. 第 8 回日本予防医学会学術総会, 2010 年 12 月 12 日, 石川県立音楽堂 (石川県)
- ③ 相良多喜子、神林康弘、人見嘉哲、日比野由利、柴田亜樹、大滝直人、林宏一、中村裕之: 能登半島地震による高齢者の精神的ストレスと食行動の関連. 第 69 回日本公衆衛生学会総会, 2010 年 10 月 29 日, 東京国際フォーラム (東京都)
- ④ 相良多喜子: 中高年会社員における体重変化と精神的健康に対する共通の危険因子. 第 57 回日本栄養改善学会学術総会, 2010 年 9 月 12 日, 女子栄養大学 (埼玉県)
- ⑤ 相良多喜子: 母親と小学生の朝食欠食状況と生活習慣についての検討. 第 56 回日本栄養改善学会学術総会, 2009 年 9 月, 札幌コンベンションセンター (北海道)